

## 地域おこし協力隊を対象とした労働安全の研修会を開催しました

### 1 はじめに

二戸農林振興センター林務室管内の九戸村、一戸町では、「自伐型林業」に取り組む地域おこし協力隊を募集し、現在6名の方が活動をしています。

各隊員は、林業に係る様々な活動を行っていますが、経験年数が短いことから、隊員への伐木技術や、労働安全に関する繰り返しの指導等が重要となっています。

そこで林務室では、伐木技術、労働安全の意識の向上を図るため、隊員を対象とした研修会を開催しましたので、その概要を紹介します。

### 2 現地伐木指導研修会(第1回)

岩手県伐木技術指導員の工藤健一氏を講師に招き、5月22日に九戸村のスギ私有林において現地伐木指導研修会を開催しました。

まず、作業開始前にチェーンソーの作業前点検を行い、目立ての仕方など、気になる点等について意見交換を行いました。

次に、一人が受け口を作った後、参加者全員でガンマークを覗き、伐倒方向の確認、修正等を行いました。一人2本伐倒し、伐倒後も全員で伐根の状況を確認するなど振り返り



も行いました。

最後に講師からは、日頃から自分で考え、工夫をしながら安全第一で活動してほしいとの激励がありました。

### 3 林業労働災害VRシミュレーター体験研修会

実際に起きた林業労働災害を疑似体験できるVRシミュレーター体験研修会を、開発者である株式会社森林環境リアライズの職員を講師に招き、7月3日に開催しました。

まず、「林業労働災害の発生状況と安全対策」について、労災の発生傾向や、保護具の重要性についての講義がありました。

次に、参加者全員が、VRシミュレーターによる労災の疑似体験をしました。

参加者の皆さんは、今回の研修会を通じ、伐木時の危険性を再認識していました。



### 4 おわりに

今後は、秋に2回目の現地伐木指導研修会を開催するとともに、先進地事例や、副収入の確保に向けた特用林産物の生産者の視察などを行い、協力隊の方たちが、地元に着し、新たな林業の担い手となるよう支援してまいります。